第1回（2024年度）がん登録標準化専門委員会 議事要旨

日 時：2024年11月26日（火）14時30分から16時

場 所：Web 会議（Zoom）

出席者：松田智大、寺本典弘、宮代勲、伊藤秀美、藤阪保仁、柴田亜希子、堀芽久美、中林
愛恵、西田一典、梅沢淳（順不同、敬称略）

事務局：秋本佳帆子、伊藤桂（順不同、敬称略）

I. 報告事項

1. がん登録標準化専門委員会について

- 規程変更以前は、標準化専門委員会において、院内がん登録のルール等に関する意見聴取を行ってきたが、全国・院内がん登録の統一したルール等に関する意見聴取を行うため標準化専門委員会の規定を変更

2. 国立がん研究センターの組織体制について

- 令和7年度からは、1部3室体制の予定で進める（新室長2名を迎える予定）
- がん対策研究所内での効率的な人員配置の調整を行う

II. 議題

1. がん登録全体のルール統一について

【協議事項】

- ルール F 及び日本独自コードの廃止（登録システム上の廃止を含む）
- ICD-O-3.2 への移行（ICD-O-3.2 掲載コードによる届出）（令和7年度内に都道府県及び病院等へ通知予定）
- 全国がん登録届出マニュアルと院内がん登録標準登録様式の記載等の統一
- TNM 第9版、IDC-O-4、ICD-11 の導入に向け、令和7年度以降、データベース及びデータの持ち方やマスタ等、システム要件も含めたルールの検討と整理

2. 2016年診断症例生存率集計について

【協議事項】

- 都道府県における純生存率のシステム実装までの間の Edeler II 法の使用
- 院内がん登録における実測生存率の公開
- 全国がん登録における2016年診断症例の生存率（表12・13）の全国及び都道府県ごとの公表
- 院内がん登録における2016年診断症例の病院別生存率集計方法の検討
- 複数年・単年の選択が可能とするための NCR システム改修に向けた検討

3. 国立がん研究センターでの住基ネットの活用に向けた体制整備等について（実装は改正法案の成立後）

【協議事項】

- 生存確認調査において、都道府県での事務の効率化のため、住基ネット活用に向けた制度設計を検討
- データ移送などにおける安全管理上の検討

4. 集計の迅速化について

【協議事項】

- 院内がん登録と全国がん登録の公表時差に関する確認
- 締切や集計のタイミングに関する柔軟な運用と制度設計の検討
- 死亡者情報の取扱いの効率的な運用を検討

5. 都道府県がん診療連携拠点病院以外の施設における TNM の収集について

【協議事項】

- チェックロジックの不整合と運用課題
- 拠点病院外への配慮（法制度と運用上の注意、教育と実務の簡素化）

6. データ利用・提供の手続の簡略化と共通化の予定について

【協議事項】

- 全都道府県への検証用の保守アカウントの提供及び事前に不具合の確認ができる体制整備
- 利便性や国際的利用も視野に入れつつ、匿名データを幅広く活用できる仕組み作りの検討

7. その他

特になし

閉会